

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：環境管理費 目：環境管理推進費

事業名 環境学習推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 脱炭素社会推進課 教育普及係 電話番号：058-272-1111(内2946)

E-mail：c11268@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,324 千円 (前年度予算額： 1,907 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,907	0	0	0	0	0	1,907	0	0
要求額	2,324	0	0	0	0	0	2,324	0	0
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

次代を担う児童に向けた環境学習を促進するために、学習要領に環境が取り上げられる小学5年生の学習内容を補助するとともに、県内の環境について理解を深めるための副読本の普及が必要である。

(2) 事業内容

学校での環境教育の推進を目的に「環境教育副読本」を作成し、県内の小学5年生全員に配布。

デジタル閲覧ができるように、ぎふ環境学習ポータルサイトとも連動している。

(3) 県負担・補助率の考え方

県環境基本計画に基づく事業であり、県全額負担すべきものである。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
需用費	2,280	印刷製本費
役務費	44	通信運搬費
合計	2,324	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県環境基本条例 第10条

第6次岐阜県環境基本計画

基本施策5 「未来につなぐ人づくりとライフスタイルの変容」

(2) 国・他県の状況

環境省 第5次環境基本計画 (H30.4 閣議決定)

愛知県 「愛知県環境基本計画 (第5次)」 令和3～12年度

三重県 「三重県環境基本計画 (第3次)」 令和2～12年度

静岡県 「静岡県環境基本計画 (第4次)」 令和4～12年度

(3) 後年度の財政負担

無

(4) 事業主体及びその妥当性

県のデータ等を基に、県内の環境について理解を深める副読本を作成し、全小学5年生に配付することで、どの地域でも等しく環境学習を推進することができる。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

第6次岐阜県環境基本計画における基本施策として「未来につなぐ人づくりとライフスタイルの変容」を位置づけ、持続可能な社会を実現する人材を育成していく。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R1)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
副読本等を活用し環境問題を探求した小学校の割合	97.1%	97.8%	100.0%	100%	100%	97.8%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	「環境教育副読本」を作成し、県内の小学5年生全員に配布し、学校や自宅での副読本の活用を進め、環境配慮行動のできる人づくりの促進を図ることができた。
	指標① 目標：100% 実績：98.0% 達成率：98.0%
令和 3 年度	「環境教育副読本」を作成し、県内の小学5年生全員に配布し、学校や自宅での副読本の活用を進め、環境配慮行動のできる人づくりの促進を図ることができた。
	指標① 目標：100% 実績：96.9% 達成率：96.9%
令和 4 年度	「環境教育副読本」を作成し、県内の小学5年生全員に配布し、学校や自宅での副読本の活用を進め、環境配慮行動のできる人づくりの促進を図ることができた。
	指標① 目標：100% 実績：97.8% 達成率：97.8%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない 	
(評価) 3	環境教育副読本は、環境基本計画の取組みである。また追加の配布の要望がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	「副読本等を活用し環境問題を探求した小学校の割合」は97.8%であり、高い成果を得ている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている 	
(評価) 2	教育委員会との連携で、より活用できる内容への見直しを行っている。ぎふ環境学習ポータルサイトと連動し、デジタル閲覧が可能である。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 ギガスクール構想や自宅での自主学習に対応できるよう、ポータルサイトと連動しデジタル閲覧が可能となったが、さらなるPRを図っていく必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 副読本に関して、さらなる活用が図られるよう、内容について意見照会等を行い、中身を充実させていく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	